

令和7年度

学校自己評価表(報告)

学校運営計画		
学校運営方針	進取の精神と豊かな人間性を身につけ、国際・情報社会で活躍できる心身ともに健康な人間を育成する。	
三つの方針(スクールポリシー)		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	①進取の精神で自らの資質・能力を伸ばす挑戦を惜まず、国際・情報社会で活躍できる心身ともに健康な人間を育成します。 ②他者への敬意と思いやりを持ち、論理的に考え、日本語でも英語でも積極的にコミュニケーションを取ることができる力を育成します。 ③グローバルな視点を持ち将来を描く力と、ふる里としての地域を愛する思いを持ち、国際社会や地域社会が抱える課題を認識し、解決しようとする力を育成します。	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	①基礎・基本的学力を養う共通科目と、特色ある専門科目を配置し、一人一人の目標に向けた進路実現の機会を提供します。 ②コミュニケーション力や、協働して課題解決に向かう力を育成するため、総合的な探究の時間を軸として教科横断的な学びを展開するとともに、きめ細かな学習指導を行うために、学習到達度確認問題や課外講習、少人数授業を実施します。 ③グローバルな感覚を育成するため、海外研修や短期留学生の受け入れなどを実施します。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	①自己の成長のために、意欲的に学校生活を送ることのできる生徒 ②国際・情報社会に広く関心を持ち、自ら学び続けようとする生徒 ③他者を尊重し、互いに高め合うことのできる生徒	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
生成AIを活用するなど、ICTを活用することによる教育活動の活性化・充実を図ることができた。一方、業務に偏りがみられるので、分掌内での業務の平準化、各業務での役割の明確化を一層進めることが必要である。	社会関係形成力の育成	柔軟に他者と協働し、自己を表現し、社会と関わっていく力を育成する。
	継続的挑戦力の育成	目標を見つけ、実現に向けて自らの心身を高め続ける力を育成する。
	分析的思考力の育成	情報や物事を分析活用し多面的に捉え、世界を広げていく力を育成する。
	主体的実行力の育成	主体的に探究し続け、柔軟に実行していく力を育成する。

1 分掌

	重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
教務部	よりよい授業の研究	魅力ある授業を行うための指導法が研究できるよう、環境を整える。	授業研究週間を設けるとともに、教科会で指導法についての情報交換を活発に行うことで、授業力向上の一層の推進を図る。 規程、時程、年間行事計画、時間割などを、教育活動が効果的に行えるように編成する。	B	A	A
	生徒募集の強化	中学生やその保護者に対して広報活動を行い、本校の特色の周知を図る。	オープンスクールを2回実施し、多くの方に学校を知ってもらう。 他の部署とも協力して新しい発信方法を考えるとともに、本校の魅力そのものが増すようアイデアを出す。	A		
	校内運営の見直し	多様化する生徒のニーズを把握し、長期的視点に立った校内運営を効率的に行う。	多様な生徒に対応した校務運営を行うとともに、ケンブリッジ国際教育プログラムの準備を行う。 校務を精選するとともに、各部署との連携を密にして効率的な運営を行う。	A	A	
	ICT機器の活用	授業および校務の情報化を推進し、ICT機器を円滑に活用できるよう管理する。	生徒の学習用タブレットを効果的に活用する。	A	A	
			校務の情報化を推進し、効率化を図る。	A		
渉外広報部	PTA・育成会活動の広報・運営、同窓会との連絡・協力、保護者と協力し生徒募集に力を入れる。	保護者との連携を維持・強化する。	PTA・育成会総会、地区PTA、学年PTAなどの行事を無事開催し、参加保護者との連携を目指す。 PTA会報「かけはし」を年4回発行し、保護者へ送付する。 学校行事への参加・協力を呼びかける。	A	A	
		生徒募集に力を入れる。	学校案内パンフレットを作成し、生徒募集に努める。	A		A
		Webサイトを適切に管理する。	Webサイトの更新を行い、情報を発信、生徒募集に努める。	A		A
	卒業生との絆を保つ。	同窓会役員と連絡を取り合い、同窓会報の作成や名簿整理等に協力する。	B	A		

生徒指導部	規範意識の向上と学校生活の充実を図る	教職員間、保護者との共通理解を図り、生徒の健全な育成を目指す。	学年部及び全職員との情報交換を密にし、問題には迅速に対応する。	A	A	A
			生徒指導部便りを適宜発行し、保護者と生徒に情報提供を行う。	A		
		基本的生活習慣の確立と学校生活の充実を図る。	時間厳守・挨拶・制服・頭髪指導、公共交通機関でのマナーを徹底する。	B	A	
			立哨指導を年3回程度実施する。	A		
		外部講師による青少年育成講話を年1回実施する。	A			
部活動を活性化する。	部活動への積極的参加を促す。	B	B			
保健環境部	心身共に健康な生徒を育てる	健康相談活動を通して適切な支援を行い、心身の健康行動につなげる。	保健室に来室する生徒の様々な悩みや症状に対し、関係する部署・機関と連携し、対応・支援を実施する。	A	A	A
	明るく清潔な学習環境を整美する	校舎内外の美化意識の向上を図る。 (生徒および職員)	毎日6限終了後、すばやく清掃に取りかかり、全員で効率よく校内美化に努める。	A	A	
			特に屋外行事の際に校内が汚れないように整美委員会に活動をしてもらう。	A		
			大清掃を定期的実施する。また各学年による年1回のワックスがけを実施する。美化週間についてはオープンスクール前に実施する。	B		
	寮生が規律正しく、安全に集団生活を送ることができるようにする	寮生が自律的な寮生活を送ることができるようにする。	毎月校内で寮生指導を行う。全体指導だけでなく、寮別や学年別など効果的に実施する。また、必要に応じて臨時寮生指導を適宜行い規律意識の向上に努める。	A	A	
			毎月各寮に出向いて、寮訪問指導を行う。(8月を除く) 毎月の寮訪問指導で、部屋の整理整頓を始め、基本的生活習慣に乱れが出ないように指導を行う。	A		
寮生に健康作りにおいて食事の大切さを意識させ、欠食が少なくなるように指導する。			A			
進路指導部	①大学進学を中心に生徒の進路希望を達成させ、大学等進学の達成率100%を目指す。 ②的確な進路情報の提供と面談等を通じて、生徒一人一人の進路希望に合わせた的確な進路指導を創意工夫する。	①進路学習の充実	・キャリアデザインのために、職業・大学研究などの進路学習を計画的に実施する。 ・探究活動や課外活動とも連携し、様々な機会を通じて進路選択の幅を広げる。	A	A	A
		②進路の明確化と目標設定の支援	・進路希望調査や模擬試験を通じて、志望校を選び、目標を明確にできるよう支援する。 ・生徒が自分の進路や人生について考え、意欲をもって学習するために、適切な時期にキャリアガイダンス講演会を開催する。	A		
		③個別指導の充実	・生徒一人一人に合わせたアドバイスを行うため、入試結果や模試データを活用し、個別面談を定期的実施することで進路選択や学習方法の相談に対応する。	A		
		④学習支援の強化	・進路目標を達成できるよう、授業以外に模擬試験や補習等を計画的に配置し、大学入試に十分対応できる学力の養成に努める。	A		
		⑤教員の指導力向上	・大学の情報提供や入試結果の分析を共有し、研修会や検討会を計画的に実施し、進路指導の質を高める。	B		
		⑥保護者への意識啓発	・三者面談や、地区・学年PTA等を通じて、保護者への情報提供と適切な助言を行い、家庭でのサポートを促す。	B		
グローバル部	世界の地域課題に取り組む、国際舞台で活躍できる人材の育成する	グローバルな視点から考察・提案できる人材の育成を図るための教育活動を行う。	3年間のグランドデザインに基づき各学年の年間計画を作成し、連携機関等と協力しながら探究活動を行う。	A	A	A
			大学教員や大学生、地域人材による指導、助言の機会を設ける。	A		
		発表会を企画・運営する。	中間報告会・年次報告会を企画・運営する。	A	A	
		活動内容を広く情報発信する。	適宜外部に情報発信する。	A	A	
	活動の成果集を作成する。		A			
海外大学進学コースで蓄積された知見を継承する	海外大学進学に向けた情報を取りまとめる。	出願や海外大学からの奨学金に関わる情報を提供する。	B	B		